



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

2022年12月8日朝刊中部版

児童 清沢和紙作り体験



静岡市葵区相俣の清沢小で7日、全校児童20人が地域に伝わる清沢和紙作りを体験した。

葵区 地域の伝統 後世に

原料となるミツマタ(57)夫妻(同区坂本)は近くの山から採取し、トロロアオイは同校で栽培した児童は、講師を務めた山田芳朗さん(60)、志保さん

とと呼ばれる道具を慎重に浸した。「水が冷たくて手がかじかむ」などと話しながら糞桁を揺らし、大小の和紙を次々とすいていった。

同校で30年以上続く冬場の伝統行事。小幡菜月さん(6年)は「昔はこんな大変なことをやっていたのだと実感できた。清沢の大切な伝統文化なので、後世まで残ってほしい」と話した。

(写真部・坂本豊)

山田さんの手ほどきを受けながら紙すきに取り組む児童
静岡市葵区相俣の清沢小

①「清沢和紙」の原料は何ですか。記事から読み取って書きましょう。

()

②「和紙をすく」というのは、どんな作業をいいますか。記事から読み取って書きましょう。

()

③記事中の会話にある「こんな大変なこと」というのは、どんなことをさしていると思いますか。

[]

④このような「地域の伝統」について、あなたはどのような考えを持ちましたか。記事を参考に、30字以内にまとめて書きましょう(句読点を含みます)。

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年~中学校/社会、特別活動、総合)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2022年12月8日朝刊中部版

児童 清沢和紙作り体験



山田さんの手ほどきを受けながら紙すきに取り組む児童
静岡市葵区相俣の清沢小

(写真部・坂本豊)

同校で30年以上続く冬場の伝統行事。小幡菜月さん(6年)は「昔はこんな大変なことをやっていたのだと実感できた。清沢の大切な伝統文化なので、後世まで残ってほしい」と話した。

静岡市葵区相俣の清沢小で7日、全校児童20人が地域に伝わる清沢和紙作りを体験した。

原料となるミツマタ(57)夫妻(同区坂本)は近くの山から採取し、トロロアオイは同校で栽培した。児童は講師を務めた山田芳朗さん(60)、志保さんと呼ばれる道具を慎重に浸した。「水が冷たくて手がかじかむ」などと話しながら簀桁を揺らし、大小の和紙を次々とすいていった。

葵区 地域の伝統 後世に

①「清沢和紙」の原料は何ですか。記事から読み取って書きましょう。

((近くの山から採取した)ミツマタと(清沢小で栽培した)トロロアオイ)

②「和紙をすく」というのは、どんな作業をいいますか。記事から読み取って書きましょう。

(原料を混ぜた水の入った漉き舟に、簀桁と呼ばれる道具を慎重に浸し、簀桁を揺らしてすく。)

③記事中の会話にある「こんな大変なこと」というのは、どんなことをさしていると思いますか。

水が冷たくて手がかじかんでしまうこと。
漉き舟に注意深く簀桁を浸して揺らさないと上手にすけないこと。
原料を探して採取したり、栽培したりしなければならないこと。 など

④このような「地域の伝統」について、あなたはどのような考えを持ちましたか。記事を参考に、30字以内にまとめて書きましょう(句読点を含みます)。

この地域ならではの伝統文化なので、後世まで残ってほしい。(28字)
体験で昔はとても大変なことをやっていたという実感を持ちたい。(30字)
自分が住む地域の伝統文化を知っておくことは大切なことだ。(28字) など

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年~中学校/社会、特別活動、総合)